

『ふるむ・マラウイ』～ブワンジェバレー～

23th /July/2011 第19号

Muli bwanji ! (ムリブワンジ：チェワ語でこんにちは、ご機嫌いかがの意)

デッサ県のタカタカ (Nthakathaka) というところに、ブワンジェバレーという灌漑施設があります。灌漑面積は、800ha(乾期作は 400ha)でマラウイ最大の灌漑施設です。日本の無償協力により建設されました。雨期は稲作、乾期は主食のメイズを主に作付けしています。米は、キロンベロ (KILOMBERO) とファヤ (FAYA) の2つの品種が主に作付けされています。KILOMBERO は、香り米の一種で日本人の口にも合い大変美味しい品種です。FAYA は、KILOMBERO に比べ安価ですがこちらマラウイ国内ではよく食べられています。この施設の受益者数は2064人と他の施設に比べて桁違いで、水管理組合による施設管理も大変です。これまで、施設の管理記録(修繕や草刈りなどの管理) や取水記録が全くありませんでした。このことは、施設に不具合が発生した場合や上流部の取水状況との関連性、または受益者に対するメンテナンスを指導する上での基礎資料がないということになります。施設の適正な維持管理ためにも、管理記録は重要なものなので、活動の一環として管理帳票の作成と記録の指導を行っています。



ブワンジェバレーの取水堰



沈砂池と幹線水路

当初管理帳票は英語版のみでしたが、より使い易いようにチェワ語版を作成しました。また、水管理組合と、帳票の目的や内容について何度も打合せを行い、2011年4月から運用を開始しました。まずは、記録をつける習慣を身につけることを念頭に置きながら、指導を行っています。また、気象観測機器もブワンジェバレーの管理事務所に設置して



管理帳票と管理方法についての話し合い

より記録に厚みを持たせようとしているところです。記録については、始まったばかりで、自立的な管理はもう少し時間がかかると思いますが、その一歩を踏み出せたことは、大変良かったと思います。少しずつでも、皆と共に進んで行ければと考えています。



目の前に広がる水田